

ふれあい

公益財団法人 犯罪被害救援基金

No.175

夏季号

令和8年7月



本誌は、**宝くじ**の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。





なんとか どうにか

暑い日だって
寒い日だって
そりゃある
苦しい時だって
悲しい時だって
まあある
なんとか
どうにか
乗り越えましょう

桜庭 巧 1978年生 柏市在住

HP/あにまるポストカード「色えんぴつとふでペン」

ふれあい No.175

表紙：あしかがフラワーパーク

目次

03 巻頭のことば
「流れに身を任せる」
俳優・歌手 石丸 幹二

04 インタビュー ひと・人・ヒト
挫折と探求の軌跡 その先に見つけた人間の可能性
目指すのは、心に寄り添い互いを認め合える社会
元陸上競技選手／東京大学先端科学技術研究センター
附属包摂社会共創機構 教授 為末 大

06 読者の広場
奨学生便り 他

14 ふれあいの広場
『令和八年度定時理事会・同評議員会』の開催 他

16 「大切な命を守る」
全国中学・高校生作文コンクールより

『朝顔に託された命の願い』 中島 愛莉

17 もしも！に役立つ！防災情報
ふれあい文庫

18 北から南から 栃木県
本物の出会い 栃木 魅力的な栃木県をご紹介します！

流れに身を任せる

俳優・歌手

石丸 幹二



決して楽天家ではないが、自分の人生について深くまで突きつめようとせずに生きている。

私は20代半ばに俳優デビューし、現在に至るまで35年ほど、さまざまな役柄を舞台上あるいは映像の中で演じてきた。フィクションの世界では、過激なまでの理不尽さや不公平さ、差別、事件などが描かれることがある。私に与えられた役柄も、多くは、厳しい人生ゆえにさまざまな悩み、苦しみを抱えていた。

難攻不落に思える戯曲の前に、私は、台詞のひとつひとつから、彼らの心の奥底にあるものを探り、心情の変化を掘り下げていく。資料を読み漁り、ドキュメンタリーや映画をじっくり観察し、あらゆる角度からじりじりと人格に近づいていくのだ。非常に苦しいもののりだが、「(身体と心に) 入った!」と確信がもてる瞬間まで、地道な作業は続く。

だから、せめて自分の人生については、あまり思いつめて苦しんだり悩んだりしたくはない。そのために心しているのは、「流れに身を任せて生きること」。人生の河を小舟でゆらゆらと、いや、時にはすすいと、あるいは、ごうごうと、流れに身を任せて進んでいく。何か変化が必要になったら、舟が勝手に、岸边につきあたって方向を変えてくれるだろう。その岸边で、しばし陸に上がり、目

の前に示された人生の選択肢を眺めてみるのも良いではないか。そしてまた舟に乗り、動き出す。運命を嘆くことも人をうらやむこともなく、少し道に迷っても流れが導いてくれると信じて。そう考えていると、気持ちはいつも軽やかだ。

初めからこんな心持ちにたどりついたわけではない。デビューから20年近くは、劇団という競争が激しい世界に身を置き、そり立つ絶壁をよじ登っていた。後から追いかけてくる誰かの気配をいつも背中を感じながら。けれども、あるとき、ふつりと緊張の糸が切れてしまい、後先も考えず劇団を退くことにした。壊れてしまった。そうだった。自宅から外に出られない日々が続く、今度は孤独が待ち受けていた。

時間がゆつくりと心を穏やかにならしてくれたようだ。屋外に出る気持ちになったとき、私を迎えてくれたのは、さんさんと輝く太陽、軒下の花々や街路樹の緑、路地裏の犬や猫たち、どこからともなく漂ってくる料理の香り、そして土手を登った先に、河が流れていた。気づくと深呼吸をしていた。とうとうと流れる水面を眺め、「ああ、すべて、生きているんだな」と思った。この時、私の人生はふたたび動き出したように思う。

挫折と探求の軌跡

その先に見つけた人間の可能性
目指すのは、心に寄り添い互いを認め合える社会

幼い頃から「走ることに魅了されていた少年は、自分の感覚を頼りに競技の道を進み、やがて世界と戦うアスリートへと成長していきました。世界陸上で二度のメダル獲得という偉業を打ち立てましたが、その道のりは、挫折や迷い、燃え尽きといった深い葛藤と向き合うものでした。本記事では、競技との出会いから世界の舞台、そして引退後に見出した「人と社会の関わり」という新たな探求まで、為末さんの歩みとメッセージをお伝えします。

元陸上競技選手／東京大学先端科学技術研究センター
附属包摂社会共創機構 教授 為末 大さん



「走る」と「書く」

静と動が共存した少年時代

まずは、どのようなお子さんだったか、スポーツとの出会いから教えてくださいます。

小さい頃からとにかく体を動かすこと、特に走ることが好きでした。幼児期から「人より足が速いかも」という感覚がありまして、小学校に入ってから実際に競走してみるといつも一番で、「やっぱりそうなんだ」と確信しました。

――陸上二本だったのですか？

野球をやったこともあるのですが、あまり上手ではなくて。チームで動くより、一人で完結するスポーツが性に合っていたみたいです。結局、長く続いたのは体操、水泳、陸上と個人競技ばかりでした。

――一方で、学校では「読書部」にも所属されていたとか。

そうですね。学校では本を読んで感想文を書く読書部、放課後は地元の陸上クラブへ通いました。当時の自分は、外で活発に動く「外7」と、家で静かに本を読む「家3」くらいのバランスで成り立っていましたね。走ることへの情熱と同じくらい、文章を読んだり書いたりするのも好きでした。「走る」と「書く」、この二つが自分の

人生の根幹にあることは、今も昔も変わりません。

世界との差と
戦略としてのハードル

――中学生の頃にはすでに「陸上で生きていきたい」と決めていたそうですね。

はい。中学生で記録が始めた頃、「これを仕事にしていこう、オリンピックに出たい」と考えていました。当時はカール・ルイスとベン・ジョンソンの対決をテレビで見て、いつか自分もあの舞台に立ちたいと願っていました。

――種目をハードルに絞ったのは？

高校生の時、海外の試合でジャマイカの選手たちと走って、短距離で世界と渡り合うのは相当に厳しいと痛感しました。でも、辞めるという選択はなかった。そこで「何なら勝てるか」と考えた時、「ハードルなら、技術次第で勝負できるかもしれない」と思ったのです。一八歳の時でした。

ハードルは技術的な要素が大きくて勝つ余地があると感じました。自分は歩幅を合わせたり調整したりということが得意だったので、向いていると思ったのです。

――挑戦に不安もあったのでは。

一般的には遅いスタートですが、不安よりも可能性の方が大きかったです。「これならいけるかもしれない」という感覚ですね。四〇〇mハードルは、一〇台のハードルが三五m間隔で並びます。普通に走ると歩幅が合わない瞬間や速度にもばらつきが出るのですが、その微調整や歩幅を合わせることが興味深く、単に速く走るだけでなく、工夫や技術介入の余地が大きい。そこに大きな魅力を感じました。

挫折が導いた飛躍のきっかけ

——二歳でシドニーオリンピックに出場されましたが、予選での転倒という苦い経験をされました。

あの転倒は、私の競技人生において最大の転機になりました。それまで国内では、そこそこうまくいっていたので、世界への挑戦をどこか甘く見ていたのかもしれない。予選落ちという挫折を味わったことで、「このままでは終われない。本気で世界のスピードに慣れなければ」と目が覚めました。

——翌年、二〇〇一年の世界陸上で日本人初、世界大会スプリント種目での銅メダルを獲得されました。何が変わったのでしょうか？

大きく二つあります。一つは本格的に海外拠点でトレーニングを行ったこと。もう一つは徹底的なデータ分析です。少し専門的な話になりますが、ハードル間のタイムを「タッチダウンタイム」と呼びます。分



ハードル再生プロジェクト 韮崎市

析の結果、実はスタートから五台目までの八台目からゴールまでのタイムは、世界トップ層と私でそれほど変わらなかった。差がつくのは中盤の五〜八台目の区間でした。そこを重点的に強化し、翌年の世界陸上では、オリンピック時より〇・四秒以上縮められました。そのように技術を磨いたことが、メダルに繋がったと考えています。

燃え尽きと再起のプロセス

——念願のメダルを手にした後、変化はありましたか？

実はそこからが一番辛い時期でした。目標を達成したことで、いわゆる「燃え尽き症候群」になってしまったのです。練習に行かなければならないのに、足が向かない。そんな状態が二年ほど続きました。

結局、次の世界陸上では予選落ちをして、周囲の注目も引いていきました。それはそれで悔しいけれど、プレッシャーが軽くなった時、自分の中に「もう一度やりたい」という純粹な思いが戻ってきたのです。もう少しやれるという気持ち、自分への期待感も一致してきて、強い気力となっていました。

走り続けた原動力とは

——長く第一線で活躍できた理由は何だと思えますか？

一番はやはり「好き」という気持ちです。悩みはあっても辞めたいと思ったことはないです。そしてもう一つは「知りたい」ということです。自分がどこまでできるのか、人間の可能性はどこにあるのか、それを確かめたいという思いがありました。

最初「自分を証明したい」ことだったと思いますが、終盤は「人間とは何か、自

分はどこまでいけるのか」を知りたいという探求心が変わっていました。肉体や精神がどう機能し、どうすれば限界を超えられるか。その本当のことを知りたいという好奇心が、私を走らせていたのだと思います。

引退後に見えた新たな使命

——二〇二二年に現役を引退されました。その時の心境は？

最後の四年間は「もう無理かもしれない」という予感と戦いながらの挑戦でしたが、引退した時は、「ようやく気が済んだ」という納得感が強かったです。やるべきことは全てやり切ったと思えました。

——現在は、スポーツを通じて社会に貢献する活動を幅広くされていますね。

はい。今は「人は変わっていくことができる」ということを伝えていきたいと考えています。私自身、現役時代に思い詰めた時期がありましたが、ある書物を通じて、視点一つで世界の見え方が変わることを学びました。どんなに苦しい状況でも、人の心は自由に開くことができる。その「余白」を社会の中に作っていききたいのです。

分断のない社会を目指して

——為末さんが目指す「いい社会」とは、どのような姿でしょうか？

人と人が孤立せず、緩やかに関わり合い、支え合える社会です。スポーツというツールを使って、お互いに勇気を送り合えるような連鎖を作りたいです。横に座って話を聞くことが、結果として人の支えになることもあると思うので、そういう連鎖が起きるいいと思って活動しています。

——具体的にはどのようなアプローチを？
勝ち負けが全てのスポーツの世界にいた

●プロフィール● 為末 大 (ためすえ だい)

1978年広島県生まれ。法政大学経済学部卒業。

中学時代より陸上競技を始め、男子100mから400mを経て400mハードルに転向。2001年世界陸上エドモントン大会にて47秒89の日本記録を樹立し、日本人として初めて世界大会スプリント種目のメダル（銅）を獲得。2005年世界陸上ヘルシンキ大会でも銅メダルを重ね、オリンピックでは、シドニー・アテネ・北京の3大会連続出場を果たした。現在も同種目の日本記録保持者。「走る哲学者」として知られる。

2012年の現役引退後は、スポーツ・教育・テクノロジー・社会包摂の交差点で多彩な活動を展開してきた。東京大学では、多様な背景を持つ人々が共に生きる社会の実現をテーマに研究・実践に取り組む。主な著書に『熟達論』（新潮社）、『諦める力』（プレジデント社）、『Winning Alone』（プレジデント社）、『走る哲学』（扶桑社）など。



為末大 著書文庫化

2023年7月に新潮社から出版され、皆様からご好評をいただいた『熟達論——人はいつまでも学び、成長できる』が、このたび2026年7月29日に文庫化されることになりました。単行本でお読みになった方も、ぜひこの機会にもう一度お楽しみいただけたらと思います。

からこそ、そうではない「柔らかな繋がり」に価値を感じています。大げさに誰かを救うというより、ただ横に座って話を聞くような、そんなさりげない連鎖が理想です。これからも研究と実践を通じて、人がもっと軽やかに、自由に生きていける世の中のお手伝いをしていきたいです。

——新たな挑戦、これからも応援しています。本日は貴重なお話ありがとうございました。

読者

の広場

奨学生便り

三年生でがんばること

小三

三年生になりました。三年生では丸つけ、べんきょう、生活、新しいことにチャレンジする、をがんばります。

3年生のわたし



文武両道に挑戦

高一

新しい学校は、不安ですが中学校から続けてきた部活動が続けられるので、勉強と部活を両立させていきたいと思

います。

修学旅行が楽しみです。

これから

勉学に励みたい

大二

おかげさまで楽しく学校生活を送っています。最近では、ニュースなどをみて、母と政治や事件などについて話す機会が増えました。今、自分自身が生活しているこの日本がどのような状況か理解できるようになつたとに更に、興味を持ち始めました。これからも勉学に励んでいきたいと思

います。ありがとうございます。

支えに感謝して

大三（外国留学中）

いつも温かいご支援をいた

だき、本当にありがとうございます。おかげさまでソウルでの留学生活にも慣れ、元気に過ごしています。今学期の寮の同室はミャンマーから来た学生で、文化の違いについて、韓国語で話しながら楽しく生活しています。

ご支援のおかげで、安心して学び、このような貴重な経験をさせていただいています。感謝の気持ちを忘れず、これからも勉強に励んでいきたいと思

保護者便り

心の中に生き続ける

いつもありがとうございます。娘が亡くなり十年経ちました。当時孫たちは三才と四才でした。母親の事は多く話せないまま、もう高校二年生と中学三年生になりました。

命日はちょうど春休み孫たちと過ごすと、東京から感謝を伝えたいと、お墓参りに来てくれました。当時大学卒業間近だった青年たちは娘と同じ三十三才になっていました。彼らは娘のお店でアルバイトをしていて進路について相談

していて、その時の娘の一言に背中を押されて留学中に何度も頑張ってきたと、「こんな所にいる人でないから、世界にはばたきなさい」あの一言がなければ、今の自分たちはなかったと今日までの話を長い時間話してくれました。幼い頃一緒に遊んでもらった、お兄さん、子どもたちとみんな

で聞き入りました。

娘がどんな人生を歩んでいたのかを思い、こんなにも心を動かされた人たちに会うことができた喜びと、三十三才と短い人生でしたが、残された子供達と、今からの青年達の心の中に生き続けることだろう娘の思いを見ることができました。命日に天国から娘と一緒に聞き入っているような気持ちでした。

子供たちの心の中に母親を思い出させとても貴重な一日でした。大きな心のささえとなりました。きつとこれから

も頑張つて生きて行けると思

いました。

PS1 青年は、二度の留学を経て日本を代表とする武道館で世界に武道を発信する武道家となつて活躍しています。

PS2 東京で家庭を築き、楽しい生活をしていきます。やさしいお父さんになつていました。(青年二人)

他の方の便りを

読みながら

いつもありがとうございます。七年前に我が家に来る事になった二人の甥と姪が高校を卒業しました。

十八歳の成人ではありませんが、保護者の役割を担う大人は必要であり、まだまだ長く見守る事になりそうです。アルバイトと学業の両立で日々忙しいと言っています。私も少し肩の荷が降りた様に思っています。

甥と姪には、しっかりとした大人になつて欲しいと考える事が最近の悩みです。

他の子たちよりも急いで大人になろうとしている姿に何て声をかけたらいいのかわかりません。他の方の便りを読みながらもう少しがんばつてみようと思

います。

早く裁判が始まつてくれる事祈ります。

息子と満喫した休日

四月十七日、十八日は一泊二日の息子初ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行つてきました。ニンテンドーエリアに入つて、ドンキーコング・カントリーとマリオカートに乗って楽しみました。絶叫が好きな息子は、ジュラシックワールドに乗って、「楽しかった」と大喜びでした。

帰りには、大阪のたこやきや551を食べました。とても楽しい一泊二日でした。また、行けたら良いなと思いました。ゴールデンウィークは潮干狩りに行つて沢山のアサリを拾つて大喜びでした。ヒラメもいて、いい体験になりました。

子供の元気な姿で

何とか

命日から一年が経ち、この春より娘も小学三年生となりました。深夜営業の居酒屋勤務だった私が突然の父子家庭となった為、仕事を続けることが困難となり、仕事を離れて約一年、子供の心のケアを一番にと、しばらく送り迎えを含め専業主夫をやつてきま

した。一年のブランクで社会復帰の大変さ、不安といった別の不安要素で悩み始めてますが、子供の元気な姿で何とか自分を保てています。

限られた時間での仕事さとしては大変ですが、少しでも普通の生活に戻せるように頑張つていきます。

御支援本当に助かります。有難うございます。

大人の一步を歩み出て

中学生活も終わり、少し大人の一步を歩み出てどうにか高校生活にも慣れ、朝も自分から起き、自転車に乗り、電車にのり、学校に行つて居ます。友達も少人数出来た様で日々、楽しんでます。

私も、高校には、きちんと通学出来るのか、とても心配でした。本人、チョッピリ大人に成つた気持で過ごしています。いつまでも人を思いやる、やさしい気持ちで一年間を頑張つて！

卒業生より

将来についての考え方

思いだすこと約四十年前、

父親の不幸に際し基金から奨学金支援を賜り感謝申し上げます。おかげ様で大学卒業、就職会社員生活にも区切りが過ぎました。

現在奨学金支援を受けて目標に向かい社会に出る若い後進に私の拙い経験から将来に向けての参考となる考え方・思いをお伝えいたしたいと思いい寄稿いたしました。

今奨学金支援を受ける皆さんは受験・就職・資格取得など目標がいろいろあることと思います。年齢や期限のある目標もあることと思います。以下四つの考え方から将来について考え方を記したいと思ひます。

■その一「考えの基本」時間はみんなに等しく与えられた財産

皆さんご家族、住まい、住んでいる環境、経済的な状況、などいろいろな思いがあると思ひます。時間は皆に等しく与えられた財産です。

■その二「願ひ・思いの実現」実現したい大きな目標を設定する。

目標設定ですが、おおよそ十年先にどうなりたいかを考えます。大学受験、資格取得、就職、など大きく考えます。

■その三「自己分析」目標を実現するのに何が不足・どうすればいいか考えます。

目標を実現して自身がどうなりたいか。目標かなえるのに何が不足しているか、どうしたらいいか自己分析してみます。どうすればいいかを親、学校、ご友人、自身で調べることも必要かもしれません。仕事ならキャリアプラン、人生ならライフプランといひます。

■その四「結果検証」良い結果・悪い結果・常に前向きに取り組みましょう。

その一、二、三をやつてみてどうだったかを検証してみましよう。

「サイクル検証」目標設定・自己分析・実現方法（行動）・結果検証・結果から目標が変更になることもあるかもしれません。実現可能性も変わるかもしれません。途上の受験・資格取得・就職には結果が出ます。結果から考えましよう。

人生に結果は出ませんが、サイクル分析して行動してきたことは、あなたに人生の財産になります。絶えず足元の目標を考え行動してゆきましよう。「時間は皆に等しく与えられた財産」を軸に考えを巡ら

せてください。これからの人生

の大きな目標に向かつて何を実現させ、どんな行動をしなければならぬか時間を惜しんで

取り組んでみましよう。実践する皆さんの将来が現実的になつてくるでしよう。実践する

後進だけでなく保護者の皆さんもこの考え方を参考にアドバ

イスし、見守りをお願いします。社会人となり就職してから、

気づいたことを記してみましよう。誰しも将来こうなりたいと漠然とした思いがあると思ひ

ます。また具体的に行動する人生ライフプランは学校教育

では十分とは言えまません。社会人として就職してからもラ

イフプランは常に考える必要があると思ひます。人生ライフ

プランは現在も実践中です。会社員現職の時に、仕事を

中心に考えるキャリアプランを目標設定・実現方法・結果

検証をサイクルとして教育を受け実践してきました。最後にこれからを切り開く

◆支援が繋いでくれた 二十年の歩みと、 これからの挑戦

小学二年生で父を亡くしたあの日、私はただ、日常から父の姿が消えてしまった寂しさに戸惑うばかりの子供でした。そんな私が今日まで真っ直ぐに学びの道を歩み、自分の好きな仕事に打ち込んでこれたのは、ひとえに「犯罪被害救援基金」の温かいお力添えがあったからです。

皆様に支えていただいたおかげで、私は大学で化学を学び、卒業後は化粧品メーカーでメイクアップ化粧品の開発に携わることができました。

研究室で色や質感の試行錯誤を繰り返す毎日はとても充実しており、気がつけば二十年という月日が流れていました。

これまでに開発した製品が美容雑誌で「ベストコスメ」に選んでいただける機会もあり、自分の仕事が誰かの役に立っていることを日々の励みにしております。キャリアを重ねた今、改めてあの日差し伸べられた手の温かさが、どれほど私の人生の土台になっていたかを深く噛みしめています。

ます。

現在は今の自分にできることをさらに広げたいと考え、仕事の傍らで経営の勉強を始めました。一歩ずつではありますが、これからも自分らしく精進していききたいと思っています。

長きにわたる温かなご支援に心より感謝申し上げます。今後とも後に続く後輩たちを優しく見守っていただければ幸いです。

卒業家庭より

夫に沢山の報告が 出来るよう

私は七十三才の高齢者となりました。三十八才の時に、突然に夫を失い、幼い三人の子供を抱え、途方に暮れました。そんな折、基金の方々より、御支援を頂き、温かい手を差し伸べて頂きました事を有りがたく思います。

早三十五年の月日が過ぎました。二人の子供は奨学金を借り、大学を卒業。一人は高校で数種の資格をとり、企業へ就職できました。今は社会人として、それぞれの道を歩

んでおります。孫も出来、成長を見るにつけ、夫が存命だったら、どんなに可愛がったかしら。どんなに可愛がったかしら。等、考えますと、本当に悔しい思いです。

子供達は四十台になり、年相応に足腰に老化が見られる私を、いたわってくれるようになりました。

夫に沢山の報告が出来るよう、精いっぱい、残りの日々を生きて行きたいと思っています。

【近況報告】

いつもお世話になり、有り難うございます。お陰様で母子三人元気に過ごしています。この度、次男も希望する調理の専門学校に入学することが出来、四月からはりきつて通学しています。次男が七か月の時に夫が亡くなり、年月が経つのは早いと感じます。あの事件を思い出すと何とも言えない感情で悲しく苦しくなりますが周りの方々の支えや子供の成長に感謝して頑張りたいと思います。

おかげさまで、学業に専念し、工学部で、自分のやりた

い研究にはげんでいるようです。ありがとうございます。

末っ子も大学三年生となり、勉学、サークル、アルバイトと毎日忙しい日々を送っているようです。年に数回しか地元には帰省できませんが、会うと少しですが成長した姿を見る事ができ、私は幸せを感じております。最近では物価高もあり生活面では本当に大変になりましたが、私は息子達もがんばっているの、自分もがんばろうと思っています!!

大学でラグビー部に所属しています。先月肩の大ケガをしてアルバイトができなくなっていました。もうすぐ教員採用試験もありますのでとても心配です。

犯罪被害にあった娘の次女が専門学校へ進学しました。本人は「お金がかかるから進学しない」と言っていました。が、パティシエに興味をもっているのは知っていました。「大丈夫。ばあちゃんも頑張るから、あなたも頑張るなさい」と進学させました。まだ

入学してから二カ月ですが喜んで通っています。犯罪被害救援基金様のおかげです。長女も大学三年生になりました。保育士になりたいと頑張っています。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

いつもお世話になり本当にありがとうございます。

いつもお世話になっております。今年も無事に進級することができました。これも皆様のお力添えのおかげです。息子は大学四年生となり人生の大きな選択を迎えることとなります。どのような道を選んでも、後悔のないように過ごしていってほしいと思います。

長男、長女共に大学二年生に進学できて安定した学生生活を送れています。





コロナで中止になった修学旅行。京都奈良に行けました。鹿が可愛くて鹿せんべい、三回買いました笑

片道二時間半の通学にも慣れ、友人も出来、授業の事や将来の事を話したり、一緒に買い物やカラオケに行ったりして、楽しく過ごしています。又、オンライン授業も受講し、時間を有意義に使える様になり、土・日は、アルバイトを始めました。

いつもお世話になり、本当にありがとうございます。孫も今年、大学生になりました。初めての電通と大学が始まりました。これから、いろいろあると思うと不安と心配ですが、見守って行きます。

事件当時二歳だった子供が大学生になりました。離れて暮らすようになり、とても寂しい思いをしています。幼い時にもっといろいろしてあげたかったな、と後悔ばかりで涙が溢れますが、大変な状況の中真つ直ぐに育ってくれたことに感謝しつつ前に進もうと思います。

本人の希望で入学した専門学校ですが、何度か体調不良で休むことが多く進級できないのではと心配しましたが、なんとか進級することができました。更に資格の取得を頑張るようなので応援したいですね。

いつもありがとうございます。下の子も大学生となり、家を出て一人暮らしを始めました。子供達はみんな出てしまいい、成長を感じると共に家に私ひとりとなり寂しくなりました。夫の事とか考えて後向きになりそうになります。が、子供達も頑張っているの、私もまだまだ子供達のために前を向いて頑張らなきゃと思います。

三人の子供たちは学業に部活にそれぞれ頑張っています。

長男は大学四年生になり、昨年から続いていた就職活動も努力の甲斐あり希望の会社への内定を頂きました。社会人になったら自分が今まで支援してもらったように今年は支援する側へとなるのだと決めているそうです。残り一年の学生生活を全力で完走してほしいです。

いつもありがとうございます。三才と四才の孫たちは、高二、中三となり、進学に向けて、生徒会活動や、部活に頑張っています。今年は十年が経ち、生前の思い出に感謝したいとの青年二人がたずね

て来てくれて、多くの思い出話ができました。「母親のアドバイスで今の自分たちがあふ」との話に亡き母親を偲ぶことができました。子供たちの心に自信と勇気を、大きく成長できた年です。

四月で長女高校三年生に進級、次男高校二年生に進級して希望していた専門分野になり毎日登校しています。六月から職場実習が始まるのでがんばってほしいです。

いつも支援をありがとうございます。四月からそれぞれ高校、大学に進学して新しい環境で頑張っているようです。来年から主人も定年で年金生活になります。が、支援のおかげで、子供達は、希望の学校へ進学ができ本当に感謝しています。二人が社会人になるまでまだ先は長いですが、子供達と頑張っていきたいと思っています。

長女が無事に高校生になりました。毎日のお弁当、送迎が始まりました。大変ではありますが、娘が楽しそうに通えているので、頑張れます。

子供達は大学生と専門学生になり自分のやりたい事や夢のため毎日学業に専念する事ができています。奨学金などがなかったら進学はあきらめていたと思います。本当にありがとうございます。もちろん父のかわりはできないし、悔しい思いはつとあります。が、まわりのみんなにたすけていただいて、支えていただいて、二人とも進学できた事、上の子は二十才になり無事、成人式をむかえられた事、とても感謝しています。

今年度は小学生最後の一年になります。あつという間でしたが、成長を毎日見れて、大変嬉しく思っています。

二女が三月に入籍しました。ただ旦那が自衛官で配属の決定が十一月になるため、それまでは同居となりますが、うれし限りです。自分も長年患っていた特定疾患も、治療方法の変更により改善傾向にあり、あと一年、三女の学業が終われば！といったところ。みなさまのご支援、大変ありがたい、無事、子供達を、社会に送り出せそうです。

息子は高校に進学するので勉強を頑張りたいと言ってます。私は狭心症になり手術したのですが良くなり障害者になりました。仕事が出来なくなり困ってます。

時は経ってしまえば、早く感じるものでお金がかかる子育ても、あと一年となりました。娘より下の子が先に就職をし、家を出ていき、昨年から私も一人暮らしとなりました。今はみんな別々の生活となりましたが、ときに一緒に出かけ食事やドライブを楽しんでいます。親よりも姉弟同士の繋がりが大きく娘から「ごうちゃんね」と息子の話を聞き、息子から「姉ちゃんな」と娘の話を聞き、姉弟の仲の良さにニンマリする母です。来年、娘が無事に就職すればひとひと息つける気がします。おかげさまで、親子ともに落ち着いた生活を送ることができました。感謝しかありません。ありがとうございます。

大変お世話になっております。先日、娘が十才の誕生日を迎え、あの事件から十年が

経ったのかと思うと考え深いものを感じました。もう十年とも思いますが、あの時の衝撃はフラッシュバックのように消えずにのみがえり、苦しく、また自分に考えられない言いさかせて過ごすこともしばしばあります。その反面、子供たちはすくすくと育ち奨学金のおかげで家計の方も大変助かっています。私たちを助けて下さっている皆様に感謝しきれない思いでいっぱいです。

子供達がよくお手伝いをしてくれるようになりました。小学二年生と小学五年生。とても助かり、三人とても仲良く暮らしています。

今年、中学校入学となり、孫はどんどん成長しています。親が居ない寂しさは、一生消えはしませんが、本人なりに頑張っているようです。思春期に入り、不安もありますが、孫を信じて見守っています。真実を伝える日がいづになるかも様子を見ながら考えたいと思います。安心して暮せる毎日が続く事を願うばかりです。

いつもありがとうございます。子供達、一学年ずつ進級し自己実現への意欲を更に深めています。ご支援のおかげでこのような姿を見る事が出来るのだと思います。改めて感謝申し上げます。さみしさや辛さをなくすことは出来なくとも、抱えながらも何とか生きなければと子供達から力をもらう日々です。夫のために、子どもたちのために、それだけ考えて生きています。

いつもお世話になっております。今春、一人息子（十八歳）が高校卒業して大学へ進学いたしました。進学先を決める際、亡き夫に相談することが出来たらと、息子にとって、自信を持つてもっと良い考えを持てたかも知れませんが、進学するには、お金のかかることですし、色々と二人で悩み、最終的に息子が自分の意志で決めました。自分の考えを確かめるように努力しながら一歩一歩前へ進んでいく姿がとても頼もしく思います。今まで、ここまで本当に生きてたくさん幸せなことがありました。大学進学と同時にひとり暮らしを始めたので

すが、掃除・洗濯・買物・食事作りについて、何でも私（母親）に聞いてきます。SNSやアプリでも、やり方や作り方が調べられるはずなのに、私に聞いてきてくれて嬉しいです。LINE電話で顔も見れて、これはどうしたらいい？と生活状況も見せてくれます。

お世話になっております。救援基金を大切に使用させていただいております。ありがとうございます。昨今の世界情勢の影響により物価が高騰して日々の生活も苦しくなりつつありますが、家族みんなで力をあわせて元気に暮らしております。子供達もそれぞれ目標をみつけ一生懸命頑張っています。これからも日々の生活を感謝しながらおきたいと思っています。

熱を出したり、かぜを引いたりして、毎学期一〜三日は、学校を休んでいたのですが、今年三学期は初めて休まず登校することができました。二年前から始めたスキーですが、先月ジュニア三級の検定試験に合格しました。次年度

は、スキー教室の上級クラスに入れるようにがんばりたいとはりきっています。

☆十九歳になる長女は社会人二年目になり、一人暮らしをして頑張っています。

☆高二の次女は、中学までは心をとざして友達も作りたがらず、でしたが親友と呼べる友達がたくさん出来「修学旅行もぜったい行かん!!」と言っていました、行くようです。

☆中三の長男は先日、修学旅行に行ってきました!!お姉ちゃん達と同じ高校に行くのが今の目標です!!

子供たちが大きくなってきて嬉しい反面、時折「どうしてパパは死んでしまったの?」と邪心がなく純粋な目で問うてくる事が多くなりました。その都度、私の心はくすみ子供たちの澄んだ目を見れなくなります。まだ本当の事は話していません。私の戦いはまだ続いております。いつか本当の事を話せる時、私の戦いも終わるのかな?と思う日々です。

いつも大変お世話に成りあ
りがとうございます。月日の
流れは早いもので七年を過ぎ
ようとしています。孫もおか
げ様で日々成長し自分の目標
に向かって元気に頑張ってい
ます。心を受けた傷はなかな
か癒えそうにありませんが私
も孫の成長を楽しみに自分な
りに元気に過ごしています。

いつもお世話になり、ご支
援していただきありがとうございます。
孫も五年生になり
ました。元気で学校へ通い、
習い事スポーツにはげんでお
ります。自分の意思を出すよ
うになり、少しずつ大人へと
成長していくのだと実感しま
す。まだまだ、先は長いですが、
家族みんなで支え合い、元氣
に過ごしていきたいですね。



あの日から五年半の月日が
経ち、この春、上の子は高校
二年生に、下の子は中学生に
なりました。上の子は休日、
お化粧をするようになりました。
父である私が、何のアド
バイスもあげれない中、独学
で練習しているようです。そ
の隣で亡くなった母親が微笑
んでいるのかと想像すると思
わず涙ぐんでしまいます。下
の子は中学校で新しい友人が
できたとき、母が居ないこと
に後ろめたさを感じないかと
心配になります。もうすぐ母
の日、一年の内、何度かある
つらい日。

事件から丸五年が過ぎ、孫
も八才になりました。皆様は
大変お世話になり、感謝申
し上げます。三才から始めた
月一回のカウンセリングは、
今は三ヶ月に一回になりました。
プレイセラピーは、三週
間に一度楽しく通っています。
今は友達と元気に学校や
サッカーに楽しく通い、ほっ
としています。今後迎える
第一、第二反抗期を上手く乗
り越えていけるか？七十才過
ぎた私達は不安ですが自立す
る為には、必要なので体力を

温存して娘の代わりに頑張ら
なくては、と思います。

二人とも元気に通学しバド
ミントン部で活動しています。

両親がいなく、二歳から祖
父母に育てられました。六年
前に祖母が他界し、昨年、祖
父が体調を崩して老人施設に
入所しました。現在は私たち
叔父叔母夫婦と暮らしていま
す。いなくなった祖父父母の家
を片付けていますが、進むに
つれ、老夫婦には小さな子を
引き取ることは大変な事だつ
たと感じています。埃まみれ
の幼稚園の頃の絵、乱雑に整
理された学校のプリント、役
所からの郵便物、掃除の行き
届いていない部屋、冷蔵庫の
中は、何年も前に賞味期限の
切れた食品。祖父母に愛情を
受けたとは思いますが、親と
は違います。彼女は距離を置
いていましたし、私たちとは
もつと距離があります。「親
は無くとも子は育つ」と言い
ますが、彼女の心の中には大
きな穴が開いているように感
じます。

二人仲良く登校し、勉学に
励んでいます。

今年、四月から孫は六年生
になります。自分で、色んな
事がしたくなって気持ちも前
向きになり、中学も受験して
みたいと勉強もがんばり、塾
も行こうかなと、なので自分
から、したいと言ってきた事
はできるだけ、サポートして
あげたい。亡くなった娘には
元気でがんばってるから、天
国から、見守ってほしいと。
孫は、背も伸び、もうすぐ娘
を追い越す(背)ぐらい、大
きく成長してるので、安心し
てほしいと思います。

おかげ様で大きな病気もな
く元気にすごしています。小
学生最後の一年楽しんでほし
いです。いつもありがとうございます。
今後も宜しくお願い願
い致します。

新中学二年生になりました
た。たくさん友達に囲まれ
て楽しい学校生活を送ってい
ます。亡くなった母親ゆずり
のまじめな性格と持ち前の明
るさと前向きな精神力で勉強
も部活もがんばっています。

春休みには部活動の合宿に参
加し、自己ベストの記録が出
たと喜んで帰ってきました。
一緒に暮らしている私達も嬉
しくなりました。姉妹も仲良
く安心しております。支えて
下さっている皆様のあたたか
いお心のおかげと感謝してお
ります。伸び伸びすくすく、
成長を見守っていききたいと
思っております。

小学二年生になり、一クラ
スなので同じメンバーで毎日
楽しく登校しています。担任
の先生は若い女の先生で、昨
年も二年を担当されており、
一、二年一緒にやる事もあり、
顔見知りです。学習では漢字
に興味を持ち、熟語を調べた
りしています。放課後は放課
後児童クラブ(学童)に月々
金は十七時まで行っており、
宿題もして帰ってきます。休
日は家の農業の手伝いをして
り、新しく買った変速付自転
車で2kmぐらいの範囲をサイ
クリングしています。最近学
校の検診でムシ歯が見つかり、
初めて歯医者で麻酔注射
をして、削って埋めてもらい
ました。泣かないで終わら
い、先生にほめてもらいました。

主人が事件に巻き込まれて亡くなった頃に中学三年生だった双子の息子は二十二歳です。突然やってきた悲しみ、不安をたくさんの方に支えていただきました。経済的に支えていただいている犯罪被害支援団体の皆様にもとても感謝しています。ありがとうございます。今年大学四年生なのであと一年よろしくお願いします。これから家族三人前を向き元気に過ごしていきたいです。

子供達はそれぞれに成長してくれています。長女は就職活動に取り組んでいます。後一年で社会人になります事、大人に近づいてますのでこれから楽しみます。二女は大学進学を考えていますので学業にはげんでいます。お陰様で二人共頑張つて将来に進んでいます。有り難うございます。

息子が今春、中学に入学しました。大きく成長したと、新しい制服を着て登校する姿を見送りました。また新しい環境での生活で不安な事もありますが、一歩一歩進んでいます。私は毎日行つて欲しいです。私は毎日

のお弁当作りを頑張ります。

お世話になっております。いつも私たち家族を支えてくださり、ありがとうございます。主人が亡くなり五年になります。今でも毎日が寂しいです。一人で子供を、育ててます。すごく落ち込んだり心が不安定になります。今も菓を毎日飲んでいます。今でも子供の前では、パパのことを話すことができません。今は次男も高校二年生になります。勉強をがんばっています。

当時、小学一年生だった次男が今年で中学一年生になりました。新型コロナウイルスの影響が大きかった当時は学校の休校に加え、事件のこともあり日々不安な気持ちで過ごしておりました。そんな中、皆様に温かくお力添えいただき本当に心強く感じておりました。今も変わらず支えてくださっていることに心から感謝しております。

皆様の御支援を頂きありがとうございます。新一年生から早いものでもう二年生です。毎日楽しく学校へ登校し、

その後学童保育へ通つてます。学童保育では、お兄さんお姉さん達とも仲良く過ごし、二年生になった今は一人帰りの出来る様になり一日一日を楽しく生活しております。学校でも背が高くすくすく成長しております。

来年の進学のため頑張つてます。動物関係の仕事をやりたいそうです。身長が2cm抜かされました。汗。自分の病氣と向き合いながら色々と考えているようです。いつか、二人で旅行がしたいです!!

(夢と言うか行けたら良いな)

小学五年生になりました。お菓子づくりが好きで本を見ながら作っています。最近では新しい部屋に替わり、「部屋づくり」と「部屋のおそうじと整頓」に興味が向いています。いよいよ思春期年代です。心身の成長をそばで見守つていきたいです。

四月から息子は二年生になります。春休みは楽しく学童に行っています。漢字が好きで書き取りでは「ハナマル」をもらったり、漢字で百点を

とった時はすごく嬉しそうに喜んでいました。亡きパパにも仏壇に向かって息子が報告していました。

長男は東京の大学から横浜の大学院に進学先が変わりました。都内から横浜に引っ越しました。海外の学会にも行けるように英語の勉強をがんばっているようです。長女は四月四日に入式があり、四月六日から早速朝八時半から十七時半まで授業があり、とても大変だけどやりたいことを学んでいるのでとても楽しい、とはりきっています。子ども達がやりたいことを学べるのは奨学金のおかげです。本当にありがたいです。

いつもご支援いただきありがとうございます。子供達は、友達も増え、健康にすくすく成長しております。長女は中学二年生になり、後輩が出来ると喜んで登校しています。長男は、集団登校の班長となり、責任感が芽生えてきたように感じます。

事件の時、二才だった息子は小学生になりました。あま

り父親の記憶がない息子にとつて父親との思い出は写真や動画の中だけです。ですが、今でも「パパ大好き」と言い、優しい子に育っています。

六年生になった娘は、休日の朝、パンケーキを焼いてくれます。後片付け、洗いものまでやってくれるようになりました。先日、母の日にはカーネーションと私の留守にこっそりパンナコッタを作つて食後にプレゼントしてくれました。パンケーキも、パンナコッタもまずは仏前にお供えています。人を喜ばせることが大好きなのは、亡くなった夫とよく似ています。

・中学生の娘が無事、高校入学できました。
・中学二年になった娘が成績が良くない為、塾に通わせたいと思っています。

家のことを二人の娘が手伝ってくれるようになりました。



一カ月に二回程度、外泊として、私（保護者）宅に泊まり、生活に慣らしている。施設での生活は、皆からかわいがられている様で、寮生と仲良く遊んでいる。学校でも、明るく過ごしており、先生からも目をかけて頂いている。これから授業参観に行く。

父親と話し合いながら決めていた第一志望の高校に合格し、入学できたことを心から喜んでいる。学ぶ喜びを知ったことで自らすすんで勉強をしている様子に母としてうれしくたのもしく思っている。奨学金のおかげで希望の道に進めていることにも感謝している。

上の子が十八才になり成人になりました。今年は受験もあり色々不安になっています。

下の子が小学校入学前に起きた事故。下の子も今年度で二年生になりました。上は四年生です。高学年の仲間入りだから、下の学年のお世話をするんだ、とはりきっています。

一年生の時、不安な気持ちのまま入学し、少し苦しい思いをした下の子も、同じクラスに仲良しのお友だちがいて、私としても少しホッとした新年度となりました。主人は少しずつトリハビロの日数を増やしがんばってくれています。いつか何年かかっても、下の子と主人がまたサッカーできたらいいなと思わずにはいられません。



飛行機からの夜景です
星が綺麗に撮れました

施設生活・学校生活にも慣れ、元気に過ごしています。施設の行事の司会をやった時には、あまりの上手さに職員たちも見習わなければ、と思わされるほどでした。思春期の入り口の反抗的な態度と、まだまだ甘えたい葛藤もある様です。

土日祝日の遠出のお出掛けは全くなりしました。金銭的にも節約をしたいとは思いますが、それ以上に先でお父さんのいる幸せそうな家族に会おう時に辛い気持ちになり、父親の事を思い出し、居ない事を再確認して悲しい気持ちになるからです。いつかまた家族でお出掛けしたいです。

いつもお世話になっております。早いもので孫も四月から高校生になりました。娘が怪我をしてから、どうして？どうしたら？と考えない日はありません。今でも娘の状態を考えたり、今後の事を考えるとどうしたら良いかわからず涙が溢れて来ます。そんな毎日でも孫が日々笑って学校に通い、学校での出来事を話

してくる、あたりまえが私たち家族の支えになっていきます。基金のみな様に助けられ孫も希望の高校に入学する事が出来ました。感謝しかありません。今は、孫が高校三年間無事に過ごせる様家族で支えあつていこうと思っています。

私の家には、私（祖父）と妻（祖母）と今年社会人になった孫（兄）、中学一年生の孫（妹）と三人で暮らしています。孫（兄）は今年四月より社会人となり別の市で一人暮らしを始めました。家からはなれての生活で心配しています。孫（妹）は、中学一年生になり、小学校より授業時間が長くなり部活もあり学校から帰る時間が遅くなり少し時間の使い方にとまどっているようです。みんなが母親の亡くなったことをかなしくさびしい思いは強く心のキズとなつていきます。みんなではげましたりささえあつてがんばっています。まわりの人たちも応援して下さったり手をさしのべてくださり助けられています。みんな元気にすごしたいと

思います。ありがとうございます。

中学入学で、部活やテスト等、楽しみと不安・緊張が入り混じっているようです。たくさん話をして見守り、支えていきたいです。

夫が亡くなり、六月で一年になろうとしています。長女も年長さんになり、長男は四月から長女と同じ幼稚園の年少さんに入園しました。こちらの基金があることも、このような立場になつて知りました。金銭面では本当に助けられています。まだ一才の子もいますので、大変ですが子どものためにもっともっと頑張らなければ！と思っています。

とつぜん娘を失い残された孫の生活を支えながら気付けば九ヶ月の日々が過ぎました。裁判の中、卒業、入学とあわただしく日々が過ぎていきます。悲しんでばかりの私でしたが頑張る孫達のためと少し、少し前を向く事ができるようになつてきました。孫達と一日一日送る事が今はとても大切なように思っています。

ふれあいの広場

事件から一年が過ぎ、ようやく生活ができるようになりました。当日を思い出すと、パニックに陥り、生活自体もままならぬ、状況でした。時間が解決してくれると思いましたが、私自身も娘も自分をとり戻すのに半年ほどかかりました。今は娘と一緒にいる時間が多くなった分、一緒にできることはできる限り行うようにしています。まだ裁判が始まっていませんが、ここを乗り越えて、新しい一歩を踏める様に、娘と一緒に頑張っていけます。

三月の終わりが命日という事もありまして自分を始め娘や周りの親族も気持ちに不安定なところがありました。二月より新たに就職活動を始めてますが、なかなか良い様にならないです。娘も四月より三年生となり少しづつではあります成長が見られます。私自身も子育てもしっかりやりながら早く仕事に就きたいと思っています。

「令和八年度定時理事会・同評議員会」の開催

当基金の令和八年度定時理事会が六月四日、定時評議員会が六月二十四日、都内において開催され、「令和七年度事業報告」及び「令和七年度収支決算」等を審議し、それぞれ原案どおり承認、決定しました。その主な内容は次のとおりです。

「事業報告」

★奨学金等給与事業

令和七年度の奨学金及び学用品費は、二百三十八人の奨学生に対して、総額六千四百六万九千円を支給しました。

★生活指導相談事業

「ふれあい」は従前同様に年四回、事務局ノートは年二回発行し、奨学生家庭、全国警察関係機関等に配布しました。なお、「ふれあい」では、近況報告やアンケートを通じて保護者らの交流の場を提供

しました。

★広報啓発事業

小冊子「明日の笑顔のために」とポスターを作成し、犯罪被害者等に対する理解と支援を訴えるため、都道府県、市区町村、警察関係機関及び被害者支援団体等に配布しました。

「全国犯罪被害者支援フォーラム二〇二五」を共同開催しました。また、犯罪被害者団体ネットワーク「ハートバンド」主催の「犯罪被害者週間全国大会二〇二五」のちきばう「未来」に協賛しました。

★助成事業

令和七年十月、犯罪被害者等支援の向上につながる調査研究（三件）について助成金額計三百三十万円を交付いたしました。令和九年三月末の報告書提出に向け、調査研究が進められています。

「収支決算書」

令和七年度収入総額は、財産運用益、受取寄附金、受取助成金等合わせて約一億三千七百二十七万円、支出総額は、奨学金給与事業、生活指導相談事業費等合わせて約一億一千九百九十一万円でした。

「愛の募金」へのお礼

■寄附金額

二六八万八二四八円

令和八年三月一日から令和八年五月三十一日までの間に、当基金に次の方々から沢山の寄附金が寄せられました。ここに皆様のご芳志に厚く御礼申し上げます。

明治大学校友会

練馬区地域支部

狩野省市様 佐藤隆造様

宮下隆様 太田滋徳様

○関東管区警察局むつみ会様

○茨城県警友会連合会様

○埼玉玉環

半田謙治様

○栃木県

石井正良様

○千葉県

岩本健様

○神奈川県

杉本正道様

○新潟県

安達春香様

○長野県

山田みち子様

○静岡県

後藤千代子様

○富山県

大久保恵美子様

○石川県

大柳晴美様

○福井県

川合祥文様

○岐阜県

脇若保雄様

○愛知県

落合康一様

○京都府

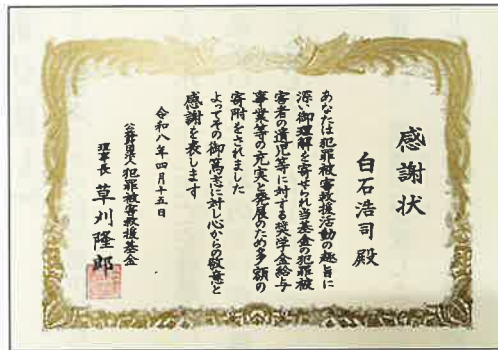
佐野砂生様

タカマスワタル様

- 滋賀県
小林朋絵様
- 大阪府
紀ノ岡健一様 宿谷正様
鈴木秀和様 堀西敏子様
- 和歌山県
西岡昭規様
- 鳥取県
有福美香様
- 岡山県
有松正彦様 林健二様
- 広島県
奥道正也様 白石浩司様
吉丸初美様
- 徳島県
今柴紀彦様
- 愛媛県
社台テクニカルサポート
株式会社様
- 福岡県
竹本友則様
- 熊本県
ヘアーキャン山崎修子様
- 宮崎県
外蘭美里様
- 鹿児島県
中村剛様
- 沖縄県
沖縄様
- 奈良県
桃原千亜紀様
- 石川県
石川三育保育園様



後藤千代子様



感謝状の贈呈

後藤千代子様と白石浩司様より長年に渡り多額のご寄附をいただきました。
このご寄附に感謝申し上げます、理事長感謝状を贈呈いたしました。

「ふれあいの箱」募金へのお礼

■寄附金額

八八万四一二円

令和八年三月一日から令和八年五月三十一日までの間に次に掲げる全国の警察本部及び警察署等から当基金に沢山の「ふれあいの箱」募金が届けられました。
関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

- 北海道警察
小樽警察署 静内警察署
旭川東警察署 中標津警察署
旭川東警察署 興部警察署
宮城県警察
石巻警察署 栗原警察署
福島県警察
田村警察署 小野分庁舎
田村警察署 小野分庁舎
警視庁
留置管理第一課西が丘分室
警備第一課 第六機動隊
サイバー犯罪対策課
久松警察署 三田警察署
大崎警察署 世田谷警察署
玉川警察署 上野警察署
西新井警察署 八王子警察署
滝野川警察署 赤羽警察署
志村警察署

- 栃木県警察
さくら警察署
埼玉県警察
上尾警察署 岩槻警察署
幸手警察署
千葉県警察
鑑識課 警察学校
君津警察署
○神奈川県警察本部警務課
○新潟県警察
上越警察署
○長野県警察本部
警務課
中南信運転免許課
長野中央警察署 中野警察署
千曲警察署 茅野警察署
諏訪警察署 大町警察署
○石川県警察
金沢東警察署
○岐阜県警察
可児警察署
○愛知県警察職員生活協同組合
愛知県警察本部
住民サービス課 機動隊
中警察署 春日井警察署
津島警察署
○三重県警察
津警察署
○近畿管区警察学校
○京都府警察
伏見警察署
○大阪府警察
箕面警察署

- 兵庫県警察
南但馬警察署
○鳥取県警察本部
運転免許課
科学捜査研究所
琴浦大山警察署
○島根県警察
益田警察署
○岡山県警察本部
交通規制課 運転管理課
運転免許課 高速道路交通警察隊
岡山西警察署 井原警察署
○広島県警察本部鉄道警察隊
○山口県警察
宇部警察署 下関警察署
福岡県警察
南警察署 粕屋警察署
若松警察署 八女警察署
柳川警察署
○佐賀県警察
唐津警察署
○大分県警察
佐伯警察署

寄附者より

寄付します。

犯罪被害者の遺児に支援させて下さい。
Y様

M様

「大切な命を守る」

全国中学・高校生作文コンクールより

これからの社会を担う中学・高校生を対象に全国各地で犯罪被害者やその家族・遺族が抱える困難や思いについて理解を深めてもらうため、犯罪被害者等による講演会「命の大切さを学ぶ教室」が開催されています。
これに伴う警察庁主催令和七年度の「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールから優秀作品をご紹介します。

● 国務大臣・国家公安委員会委員長賞 中学生の部

『朝顔に託された命の願い』

学校法人トキワ松学園トキワ松学園中学校高等学校 三年

中島 愛莉 なかじま あいり

先日、二〇一六年九月六日に起きた小学生の死亡交通事故についての講義を受けました。私には三歳年下の弟がいます。そのせいか、事故の話はまるで自分の家族に起きたことのように感じられ、胸が締めつけられるような思いました。

いつも通りの朝。ランドセルを背負い、笑顔で登校しようとしていた一人の小学生が、突然、命を奪われました。そのあまりにも理不尽な出来事の前に、私は言葉を失いました。

事故の原因は、運転手の不注意と交通環境の不備が重なったものでした。しかし、私の心に強く残ったのは、「その子はもう二度と、家に帰ることができなかった」という現実でした。

私たちが「いつもの朝」と何気なく過ごしている時間が、ある家族にとっては、最愛の子とも永遠に別れる朝になってしまったのです。

講義では、事故の詳細だけでなく、ご遺族が背負った深い悲しみについても語られました。その中で紹介された「けんちゃんの朝顔」のお話が、特に

心に残りました。

事故で命を失った「けんちゃん」が、生前大切に育てていた朝顔。その朝顔は夏の終わりに種を残しました。けんちゃんのご家族は、その種に「交通事故を二度と繰り返さないでほしい」という願いを込め、全国に配り始めたそうです。

「同じ悲しみを、他の誰にも味わってほしくない」

その想いとともに広がった小さな朝顔の種は、今、命の尊さや交通安全の大切さを伝える「生きたメッセージ」として、多くの人々の心を揺さぶり続けています。私はこの話を聞いて、けんちゃんの命は失われたけれど、その想いは今も人々の中で生き続けているのだと感じ、胸が熱くなりました。

私はこれまで、「交通安全は大切なこと」と分かっているつもりでも、どこか遠い世界の出来事のように思っていました。けれどもこの講義を通して、交通事故はいつ、誰の身にも起こりうる、すぐ隣にある現実なのだとすることを痛感しました。

運転していた人も、事故を起こすつもりはなかったはずですが、しかし、たった一瞬の不注意が、大切な命を奪い、残された人の人生を大きく変えてしまいました。その事実の重さを、私は改めて受け止めました。

私の父は毎日車で通勤しています。弟はまだ小学生で、登下校の道中に危険な場面に出会うこともあるかもしれません。だから私は、今回の講義で学んだことを家族にも伝えようと思いました。

「車を運転するときは、スマホを見たり、急いだりしないで」

もしも!に 防災情報

いつどこで起こるかわからない災害。
いのちを守るために、日頃から災害に備えて準備しておくことが大事です。
警視庁警備部災害対策課X (旧Twitter) に紹介されている
防災に役立つ豆知識を紹介いたします。
備えあれば憂いなし。とても役に立つ情報ばかりですので、
ご自宅でご試してみたい方が多いのではないでしょうか。

回復体位で気道確保

意識はないが呼吸している傷病者が窒息しないようにする「回復体位」について紹介します。「回復体位」をすることで、あごや舌の緊張がなくなることによる気道の閉塞や、吐物が誤って肺内に入ることを防ぎます。万が一の時、あなたの大切な人や身近な人を救うためにも参考にしてください。



災害対策課X (旧Twitter) で様々な防災情報を発信中！
ぜひフォローしてください！

@MPD_bousai

災害対策課X (旧Twitter) はこちら



ふれあい文庫



新訂版 小学生になったら図鑑
入学準備から小学校生活までずっと役立つ366

出版社：ポプラ社 監修：長谷川康男

小学校に入る前に知っておきたいこと、入ってから役立つこと、366項目！2018年の刊行以来、口コミで人気が広まり、版を重ねてきた『小学生になったら図鑑』。これにタブレット等端末を活用した授業風景や、ネットリテラシー、体のプライバシーゾーンなど最新情報を加え「新訂版」として再登場です！

入学前～新入学生向けに特化して、日常生活に必要な知識・情報を網羅。「学校」「生活」「友だち」「学習」「安全」の各分野で、小学生生活にまつわる、お子さんやおうちの方の不安に応えます。



仕掛絵本図鑑 動物の目で見ている世界

出版社：小学館 著者：ギヨーム・デュプラ 訳：渡辺滋人

猫はとてもひどい近眼。牛と馬は真正面がよく見えない。鳥は人間よりもずっとよく見えていて、ヘビは動きを敏感に察知する目を持っている。最新の研究成果に基づき、動物や昆虫の目に世界はどのようにうつっているのかを同じ光景を描き分けることで表現した、世界ではじめての視覚絵本。動物の目をめくると、そこに目撃している世界が広がる、驚きが一杯の仕掛。親子で楽しみ、科学の面白さを自然に体感できる、画期的な大判絵本です。

※ご希望の方には、ここで紹介した本を抽選で差し上げます。
ご希望の方は、犯罪被害救援基金までお電話又はお手紙にてご連絡ください。
発表は本の発送をもって代えさせていただきます。

「道路を渡るときは、必ず左右を確認してね」
そう、何度でも伝えたいです。
私たちも、やがては運転する立場になります。だからこそ今のうちから、「命を預かる責任が運転にはある」という意識を、しっかり持つておく必要があると思います。
そして、運転する人だけでなく、歩行者である私たち自身にも、自分の命を守る責任があるのだということも、忘れてはいけません。
信号を守ること。スマホを見ながら歩かないこと。自転車に乗るときにはヘルメットを着用すること。どれも小さな行動かもしれませんが、その一つひとつが、命を守るための大切な「種」だと思ふのです。

命は、何よりも尊いものです。どれだけ謝罪や補償があつたとしても、一度失われた命は二度と戻ってきません。だからこそ、毎日の暮らしの中で「安全に気を配る意識」を持ち続けることが、未来の事故を防ぐ第一歩になるのだと思います。
今回の講義は、私にとって「命を考える大切なきっかけ」となりました。
けんちゃんの朝顔の種のように、小さな行動が多くの命を救う力になる。そのことを忘れず、私もこれから、一つずつできることを行動に移していきたいです。そして、将来車を運転するようになったときには、どんな時でも「事故を絶対に起こさない」という強い決意と責任を持って運転したいと思ふます。
たった一人の命も失われることのない社会を目指して、私自身もその一員として、真剣に命と向き合い続けていきたいです。

ニッポンの魅力 再発見!

北から 南から



本物の出会い 栃木
魅力的な栃木県をご紹介します!

栃木県庁産業労働観光部
観光交流課

栃木県の魅力を県内5つの地域に分けて、それぞれご紹介します。

まずは、栃木県が誇る日光地域。
平成11年に日光東照宮、日光山輪王寺、日光二荒山神社は「日光の社寺」として世界遺産に登録され、一年を通して国内外から多くの観光客が訪れています。これからの時期は、涼を求め、いろは坂を登り、明治期の外国人から「絵のように美しい湖」ともいわれた奥日光の中禅寺湖を訪れてみてはいかがでしょうか。

続いて、那須地域。
明治期に開拓され広野から豊饒の大地になった那須野が原。今も残る明治貴族たちの開拓の痕跡を訪れると、激動の時代に生きた人々の息づかいが聞こえてきます。
旧青木家那須別邸は、この地で青



旧青木家那須別邸



中禅寺湖

木農場を開設した青木周蔵の別邸です。邸宅前に広がるハンナガーデンには、これからの時期、ひまわりが皆様をお迎えします。

次は栃木県の県庁所在地、宇都宮市も含まれる県央地域。

栃木県の中心地で、自然と都市が共存しているエリアで、宇都宮餃子®を始め、鹿沼のにらそばや高根沢ちゃんぽんなどの個性豊かなグルメが楽しめます。宇都宮市西部にある大谷資料館は、多くのドラマや映画、



大谷資料館

ミュージックビデオの撮影やショーの会場にも利用されています。皆さんが見ている、あのドラマやあの映画にも使われているかもしれません。

次は、首都圏から足を運びやすい、県南地域。

足利市にあるあしかがフラワーパークは、春には藤の花が見頃を迎え、更に、頭上一面に大藤も咲き誇ります。また、冬には大規模なイルミネーションが展開され、夜に美しい光の花を楽しませてくれます。

最後は、県東地域。

豊かな自然と田園風景の中、陶芸展や古民家風のカフェなどが軒を連ねる県東地域は、真岡木綿など伝統工芸品も有名ですが、特に益子焼は人気が高く、毎年春と秋に開催される益子最大のイベント「益子陶器市」は、多くの方で賑わいます。

以上、魅力たっぷりの栃木県をご紹介しました。

編集後記

皆様いかがお過ごしでしょうか。年々夏の気温が上がってきており、外へ出かけるにも一苦労です。

今回の「北から南から」で紹介された栃木県宇都宮市にある大谷資料館は、大谷石の採掘場跡に関する博物館だそうです。地下30メートルに位置し、真夏でも気温が10℃を下回るほど涼しく、上着が必要になることもあるようです。この夏、避暑を兼ねて訪れてみてはいかがでしょうか。

ふれあい 第175号

令和8年7月1日発行
発行者／公益財団法人 犯罪被害救援基金
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-3-6
平河町共済ビル2.0
電話／03(5226)1020
FAX／03(5226)1023
相談コーナー／03(5226)1021
ホームページ／<https://kyuenkikin.or.jp/>

犯罪にあわれた 被害者の子供たちに愛の手を

「誰でもよかった」などという無差別な犯罪や一方的な思い込みによる凶悪な犯罪の被害に遭われる方が、今でもなくなりません。何の責任も落ち度もないのに、ある日突然、命を奪われた被害者の思いは想像もできません。遺族の嘆きや悲しみ、悔しさは、筆舌に尽くし難いものがあります。

こういった犯罪被害に遭うことを予期することとはできません。いつ、誰が被害に遭つか、誰にも分からないのです。

国による犯罪被害者への給付や地方自治体による支援施策の充実が必要であることはいうまでもありませんが、それだけでなく、多くの国民の方々が、被害者に心を寄せ、一人一人がでさる支援をしていくことが求められています。

当財団は、犯罪被害給付制度の開始と時を同じくして発足した日本で最初の犯罪被害者支援民間団体として、犯罪被害遺児への奨学金支給事業を中心とした支援に当たってまいりました。これまでに、二二五七人の奨学生に約三〇億七五二八万円を支給し、被害遺児が学業を全うするための一助となってきました。そのすべては、国民の皆様からのご寄附とその運用益によるものです。

きわめて厳しい経済情勢の中ではありますが、今後とも適切な額の奨学金を支給するためには、多くの皆様からのご寄附を得ることがますます重要となっております。引き続き、広く国民の皆様の温かいご理解とご寄附を心よりお願い申し上げます。

寄附金応募の方法

▶金融機関へ振り込んでいただく場合

銀 行 名：ゆうちょ銀行

口座番号：00120-4-37666

他の銀行から振り込まれる場合

〇一九（ゼロイチキュウ）店

当座0037666

口座名義：公益財団法人 犯罪被害救援基金

※ゆうちょ銀行から振り込んでいただく場合、ご連絡いただきましたら振込手数料のご負担をいただかない専用の振込用紙を郵送いたします。

現金で振り込む場合には、硬貨の枚数により別途加算料金がかかる場合があります。詳しくは、ゆうちょ銀行にお問い合わせください。

▶郵便にてご寄附いただく場合

直接当基金へ郵送ください。

寄附金は確定申告をしていただきますと、税制上の優遇措置を受けることができます。

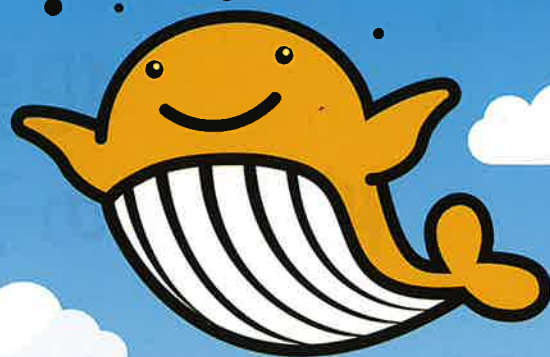
▶「ふれあいの箱」にご寄附いただく場合

各警察施設等の窓口に置いてある「ふれあいの箱」（募金箱）をお願いします。

ふれあいの箱



宝くじは、 みんなの暮らしに 役立っています。



移動採血車



ピクニックテーブル



宝くじドリームジャンボ絵本



宝くじ桜



消防団防災学習・災害活動車両



一輪車



パブリックアート



フラワープランター



検診車

宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、教育及び
社会福祉施設の建設改修などに使われています。

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う
社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>

